ふたなり魔法使いが触手等に
ひたすら精液を搾られちゃうお話。

ここは冒険者が集まる街。

ここには冒険者を支えるためにいろんな商人達が集まる。

ゆさっ♡
ゆさっ♡
たぷっ♡
むちっ♡
ガラララ…

わたしもその一人。

ガラ…

たぷっ♡
ぷるんっ♡
ゆさっ♡
ゆさっ♡
むちっ♡
むちっ♡

まだ見習いだけど、魔法使いの知識をつかって様々なアイテムを売ってます。

特に人気なのが…

この「魔力回復ポーション」。

お客さんによると「魔力以外にも色々元気になるんだ」とか…？

ガヤ…
ゾロ
ガヤ…
ゾロ
ガヤ…
ゾロ

おかげさまで大繁盛です。

ただ一つ問題があって…
在庫がとても少ないんです。
人気商品なのも相まって、
数分で売り切れてしまいます
すみません、
もう売り切れちゃって…
くそー
間に合わなかったか～
次は朝一に来るよ
むちっ
むちっ
ゆさっ
ゆさっ
たぷん
——さて、今日もそこそこ
儲けることができました。
ゆさっ
むちっ
明日の街頭販売のために
早く帰って「仕入れ」しなきゃ…
ゴトッ
え？
なんで魔力ポーション
に限って在庫が
少なくなるのかって？
ドド…
ドド…
それは…
ハァ…
ハァ…
ハァ…

実はわたし…誰にも言ってないヒミツがあって…
コトッ…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
…。
ゆさっ♡
ゆさっ♡
たぷっ♡
むちっ♡
むちっ♡
グッ
グッグッグッ…♡
どくっ…どくっ…
わたしのアソコ、
ボロンッ♡
ブルンッ♡
ビーンッ♡
おちんちんが生えてるんです。
ビクッ
ビクンッ♡
ドクッ…ドクッ…
ビクンッ♡
んんっ…♡
ぐにゅっ♡

はぁ～っ♡
ビクッッ
シコ♥
シコ♥
シコ♥
あっ、違いますよ？
決してムラムラしておちんぽシコシコ
したくなったわけじゃありません
実はわたしのおちんぽから出るお精子には
濃ゆ～い魔力がたっぷり含まれてて…
ハッ♥
ハッ♥
ハッ♥
シコ♥
シコ♥
あっ…♡
ちょっと待って下さいね…
ぐっ♥
トロッ…♥
今、お精子登ってきてっ…
出ます、からっ…♡
どくっ…♥
どくっ…♥
グッグッ…♥
出るっ…♡
出る出るッ…♡
ビクッ♥
ビクッ♥
でりゅうっ♡
ビュルッ♥
ビュルッ♥

フ～～ッ♥
フ～～ッ♥
びちゃあ～～♥
ビクッ♥ビクッ♥
そうです。
魔力回復ポーションの原材料は…
ビクッ♥
ビクッ♥
フーッ♥
フーッ♥
ドキ♥
ドキ♥
ドロ～～～
ひぷっ♥
ひぷっ♥
魔力をたっぷり含んだわたしの精液なんです。
お客さんにはもちろんナイショです…♡
ただ…最近手コキオナニーも
マンネリ気味で…
こぽぽ…♥
トクッ♥
トクッ♥
在庫が少なくなってしまうのは
そのせいなんです。
ひクッ♥
ひクッ♥
このままでは儲けが
いつまでも増えません

そこで！
わたしの精液採取を
手伝ってくれる「助手」
を召喚しようと思います！
キュオオオッ
ボンッ！
これは触手モンスターの幼体。
うにょ
うにょ
これはスライムモンスターの幼体。
プル プル
どちらも弱体化した状態なので
危険はありません。多分。
…ッ
ゴクッ…♥
手コキ以外の新しい
刺激を加えれば…
シコ
シコッ♥
精液もたっぷり
出るはずだよね…！

というわけで…
まずはこのワーム？から…
むちっ♡
ぷるんっ♡
むちっ♡
ドキ♡ドキ♡
じゃあ…い、挿れるね…
ツプッ♡
ビン♡ビン♡
あっ…！
ぬるっ♡
あっ…♡
ぬるる～～…♡
あっあっあっ…♡
ぬぷんっ♡
ふゃあぁぁ～ッ♡

なにこれっ…なにこれぇ♡
熱くてっ♡トロトロぉ…♡
ズクッ
ズクッ
ズクッ
ズクッ
オッ…♡
オォ♡
むちっ♡
ぷるんっ♡
たぷっ♡
すごいっこれっ、気持ちいいっ♡
手でするのと全然違うっ♡
ズップ♡
ズップ♡
ズップ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
どちゅっ♡
どちゅっ♡
むちっ♡
むちっ♡
あっ…やばいっこれっ…
ブッ♡
ブッ♡
ブッ♡
ギュッ♡
ギュッ♡
むっちぃぃっ♡
お射精、くる…っ♡
くるくるくるッ♡

うぁあぁあ♥
イグッ♥
イグゥゥ♥
ビュルッ♥
ビュクッ♥
うっわ…♡
すごい量…♡
それにすっごい濃厚…♡
これ…結構良いかも…♡
ズルルル…♥
オッ…♡
チュポ♥

次はスライム。
う、うーん…
ちょっと冷たいな…気持ちいいかな？
ドキ♡
ドキ♡
ぷる♡
ぷる♡
ビク♡
ビク♡
冷たっ…
ぴとっ♡
ブワッ!!
ビク♡
わわっ！
ニュク♡
グググ…♡
ニュク♡
…？なんか…うねうねしてる…？
ひゃ～…張り付いちゃった
ゆさっ♡
ゆさっ♡
むちっ♡
むちっ♡
ぴたっ♡
みちっ♡
みちっ♡
ちょっとひんやりしてて気持ちいいけど…

あっ…これ…
シコシコ
んんっ♡
これっ…誰かの手でシコシコされてるみたいっ…♡
乳首もいじれるし…気持ちいい…♡
あ…やば…もう…お精子…グツグツ登ってくる…♡
カリ
カリ
カリ
カリ
ぎゅうっ
グツグツ

ぎゅうううっ♡
イグ～ッ♡♡♡
ビクーンッ♡
びゅるっ♡
あぁ…♡ごめんね…♡
ザーメンの勢いすごくて破けちゃった…♡
でもスライムだし…大丈夫だよね？
どろ～～～♡
もわっ♡
どろっ…♡
びちゃあ…♡

はぁ～♡
すごかった…♡
新しい刺激作戦…
上手くいったかも…♡
ビクッ
ビクッ
あ、そうだ…
精液回収しないと…
ゴゴゴゴ
…ん？あれ？
ゴゴゴゴゴゴ
？？？？？
…え～と、あのっ…
どちら様…？
カタカタ
ぎゃーーー

ブク
ブク
ブク
ブク
ブク
ブク
うぅ～んっ…
何が起こって…
ハッ
そ、そっか…！
これ…スライムか…！
わたしの精液の魔力を吸い取って
進化しちゃったのか…！
これ、マズイかも…！
たぷっ
むちっ
ぶるんっ
ぶるんっ
ビクンッ♡
どくっ
うぁっ…トロトロ…
な、なんか温かいし…
ドキッ
ドキッ
ドキッ
どろ～～～
ビコンッ♡
こ、こんなところに
おちんぽ挿れたら…♡
ビクンッ♡
いやっ、だめだめだめ…
とろとろっ～～～
むちゃっ
これ以上魔力を
あげちゃったらっ…

ぅあああああ～ッ♡♡
あ、温かッ♡なにこれぇッ♡
ぐぼぢゅっ
ズブッ！
ちんぽッ♡溶けちゃうぅッ♡
ズチュルルレッ♡

あっ…このスライム…
おちんぽのキモチイイところ、完全に「分かってる」…♡
中の形がツブツブに変わって…おちんぽぞりぞりしてくるっ♡
いいいいッ♡気持ちいい～ッ♡♡
ちんぽ搾られるッ♡お精子吸い取られりゅっ♡
あぁイクッ♡イクイクイクッ♡♡出る出る出る出るッ♡
ぐぽっ
ぐぽっ
グチュッ
グチュッ
ジュポッ
ジュポッ
ゆさっ
ゆさっ
ぶるんっ
ぶるんっ

イッグウウウッ♡♡
ドビッ♡
ビュルルッ♡
ビュルルッ♡
ビクン♡
ああああっ♡
吸い上げられてるッ♡
ズゾゾゾゾゾッ♡
ブビュルルルッ♡
気持ちいいいいっ♡♡

ズルルッ♡
おっ♡おっ…♡
ひゃッ…♡
チュポッ♡
すごかったっ…♡
手でするのと全然違うっ…♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ダメなのに…
ハマっちゃいそうッ…♡
にゅるるる…♡
ドキ♡
ドキ♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡
ズルゥッ♡
あぁっ♡

…で、さっきから気になってたけど…
キミは誰っ!?
どこから出てきたのッ！
って、この花…
ぬぅ…
あぁ～ッ、何気なく飾ってたあの植物モンスターか！
コレ。
さっきのスライムのお射精で思いっきりかかっちゃって…
私の魔力ザーメン、吸収しちゃったのか！

プシュッ♡
オッ♡♡
ハァッ…？♡
頭…フワァって…っ♡
ムクムクムク
あぁ～…♡おちんちん、
元気になっちゃった…♡
プシュッ♡
ア～…♡
ンァ♡
また…ぴゅっぴゅ
させられちゃう…♡
ビンビン♡
ウッ♡
フ～♡
くぱっ♡
もにゅ♡
ぐにゅ♡

あっ♡
おっぱいだめっ…♡
ハッ♡
アッ…♡
アッ♡
もにゅっ♡
くにゅっ♡
もに…♡
ピンッ♡
ピンッ♡
そんなっ…♡
ねちっこくっ…
ぷり♡ぷり♡
ムギュゥウッ♡
んん～もうっ、なんでそんな
おっぱいだけっ…んんっ♡
ンッ♡
くに♡
くに♡
ギューゥうううっ♡
にゅるる…

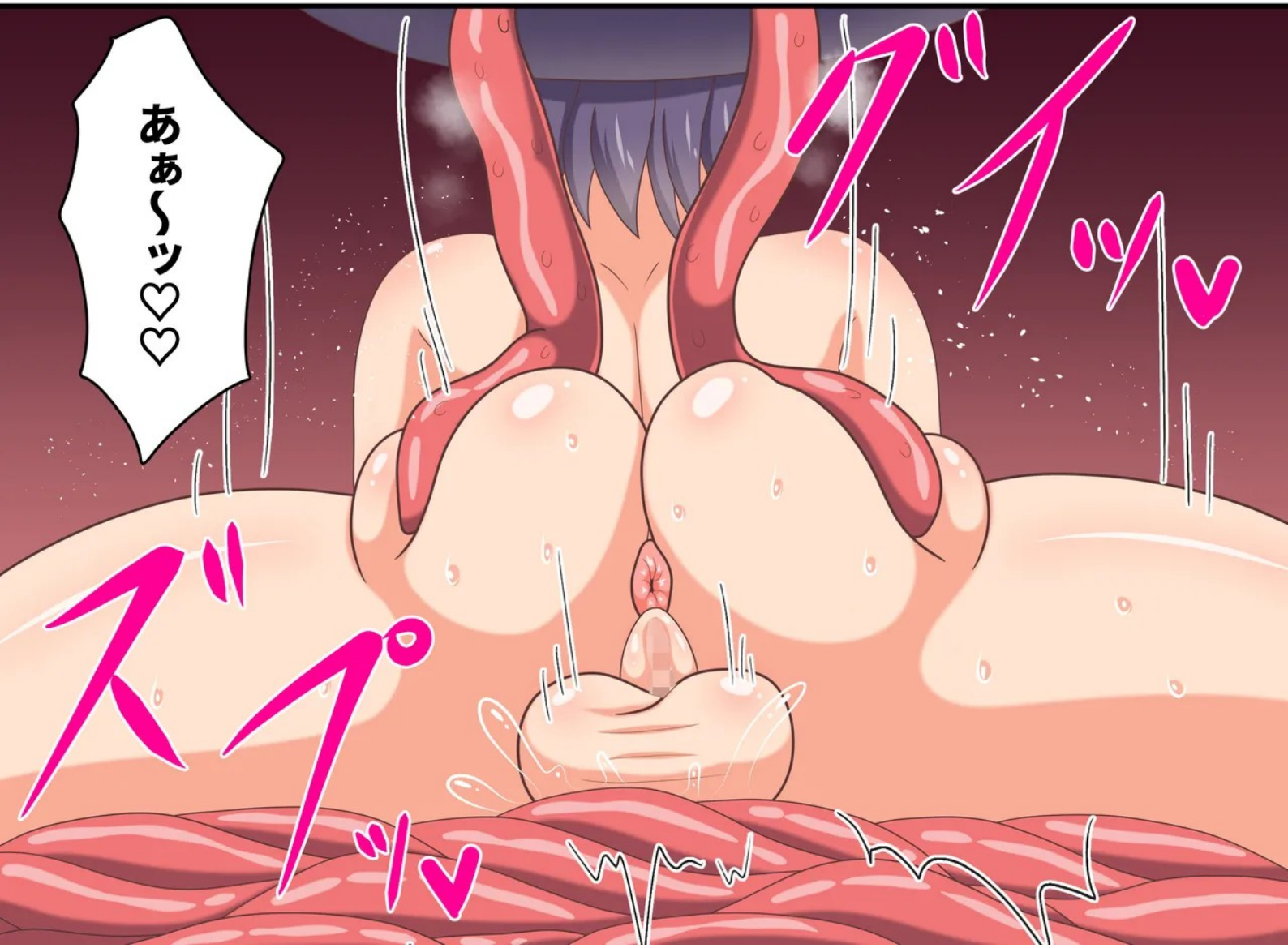
え…!?
こ、これってっ…植物くんのちんぽ…?
やっ…ま、待ってっ…!いまそんなの挿れられたらっ…!
ビクッ♡
ビクッ♡
うにょ♡
ぐぐっ♡
うにょ♡
ズッ
ぐぐ…♡
あぁ〜〜ッ♡
プッ♡
あっ…♡
ニュル♡

ブッチュン
ブチッ
ブチュッ
ぐにぃ
うぅ～ッ♡♡
おっぱいとおまんこばっかっ…♡
ズチュッ
おちんぽっ…♡
おちんぽも触ってよぉ…♡
おちんちん切ないよぉっ…♡
シコシコしてっ…♡
ビクンッ
ビクンッ
このままじゃ…おちんぽ
触られてないのにっ…♡
イッちゃうっ…♡
ズポッ

くるっ♡
きちゃぅ…♡
どくどくっ
グッグッグ…
あっ…♡
ァァ～～ッ…♡♡
ハァ…♡
ハァ…♡
ハァ…♡
ハーッ♡
あ～…出ちゃった…
おもらしみたいなお射精…
お腹にじわぁ～って広がって…
気持ちいいぃ…♡
ぴゅくっ
ぴゅくっ
ぴゅくっ
とぷ…
とろ～…

はぁ～…♡精液…
ちゅるちゅる舐め取られてる…♡
勃起…収まんないっ…♡
ちゅるっ
ちゅるっ
ちゅっ
ジュルルッ
グボチュッ
にゅるるっ
んぶぅぅっ♡

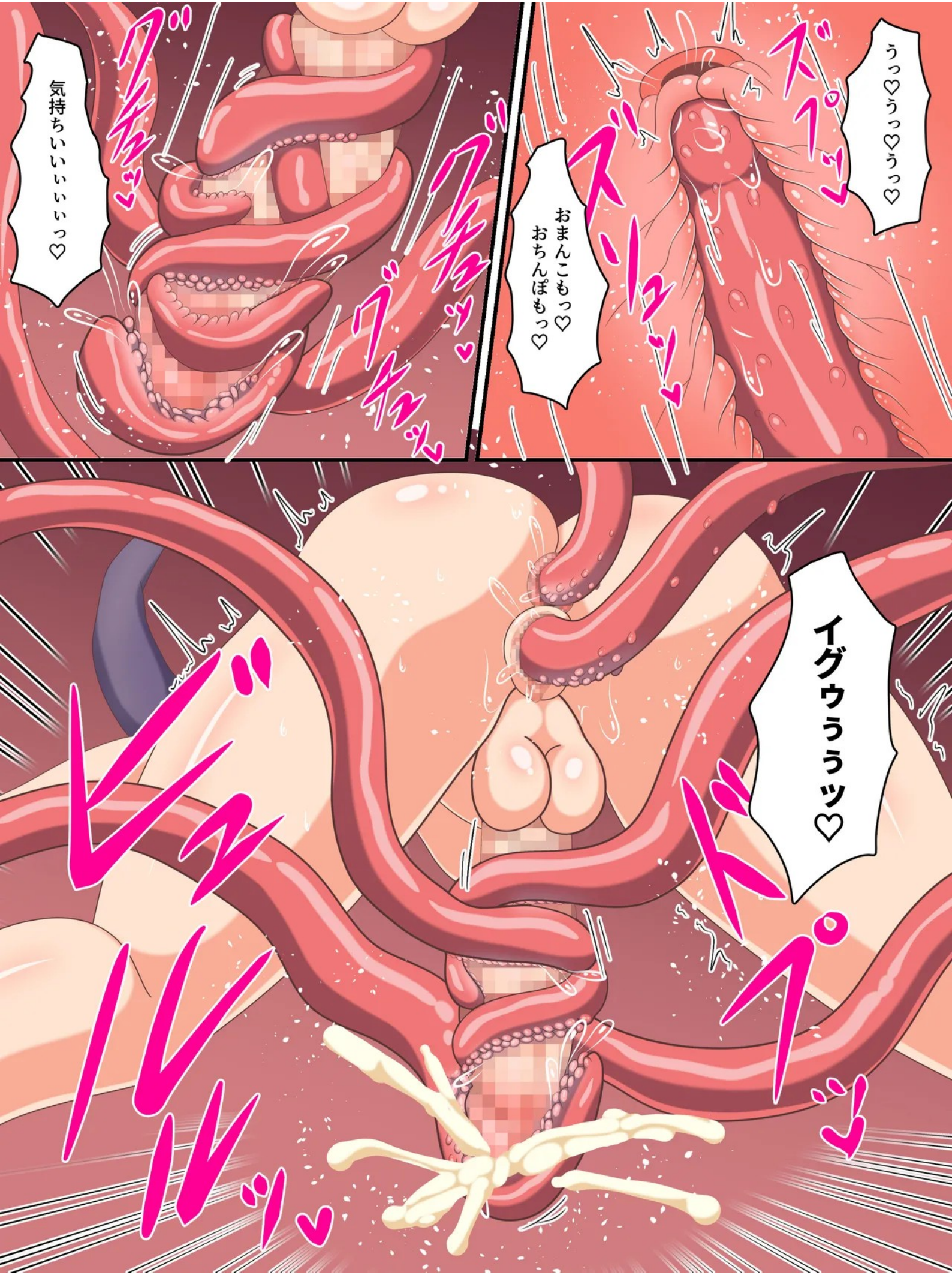
うぅ～っ、
こ、今度は触手っ…!?
ぬ、抜かなきゃっ…!
グ
グ
グ
グ


あぁ～ッ♡♡
グ
イ
ッ
ン
ズ
プ
ッ
ン

あぁッ♡ダメダメッ♡
腰掴んで強制ズポズポ
するのダメッ…！♡
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
きもぢいいいッ♡
イグッ♡イグッ♡
ビュー
ビュルルルッ
射精(で)りゅうううッ♡♡

気持ちいいの
止まんないっ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
あっ♡あっ♡あっ♡
それっ♡気持ちいッ♡
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ヌチ♡
触手のツブツブッ♡
柔らかっ…♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
むちゅうっ♡
ブチュ
ブチュ
うぅぅぅっ♡♡

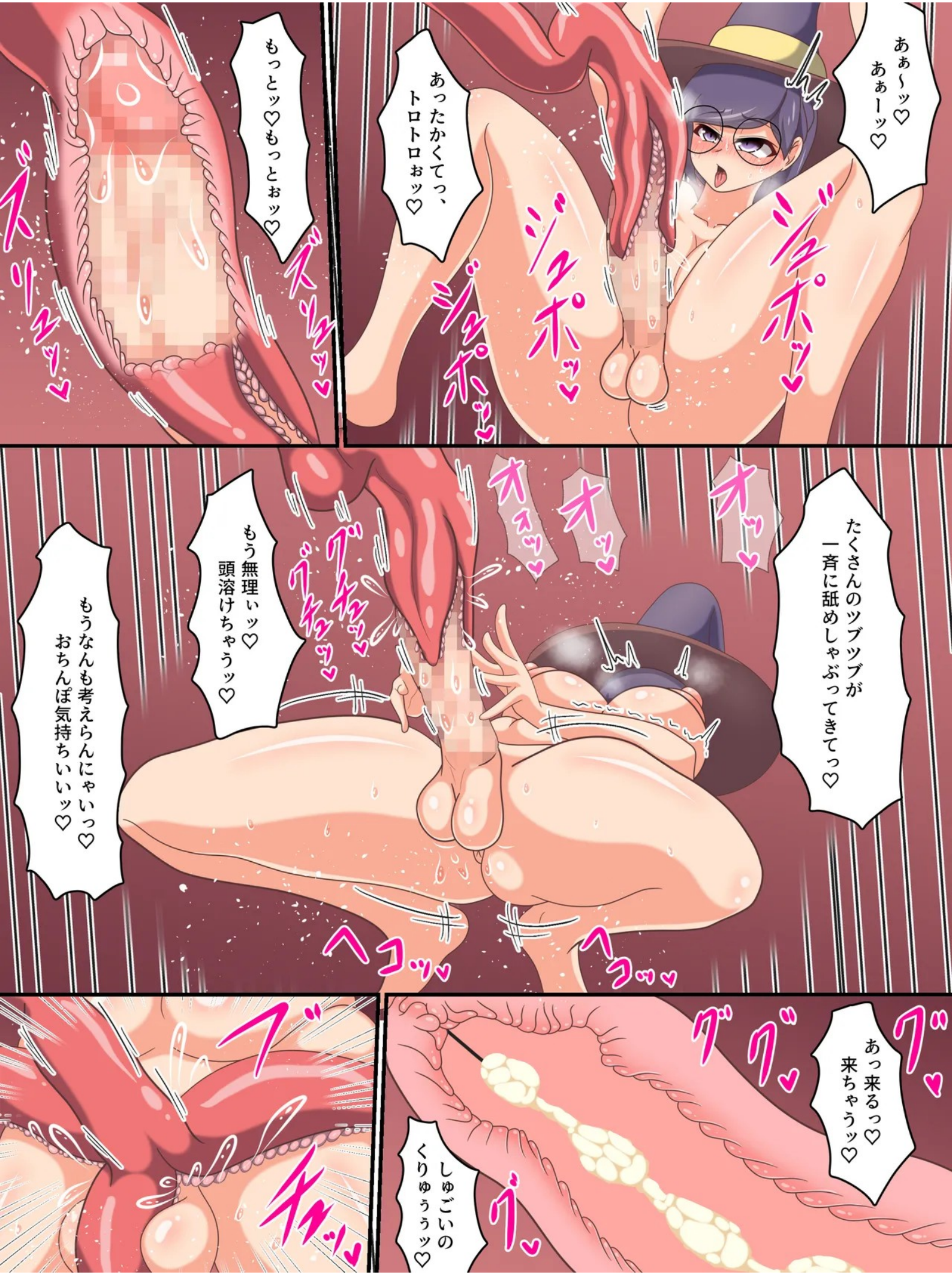
ひぅっ!?
おおおおっ♡
気持ちいいいっ♡
あぁあああっ♡
触手ちんぽっ♡入ってくるぅぅッ♡


うっ♡うっ♡うっ♡
ズプッ
ズリュッ
おまんこもっ♡
おちんぽもっ♡
ヴチュッ
ヴチュッ
気持ちいいぃぃぃっ♡
イグゥうぅッ♡
ビクビクッ
ドプッ

おおおおおおッ♡
でりゅでりゅでりゅうううッ♡
お射精止まんにゃいッ♡
イッグゥゥゥゥゥゥッ♡♡

は…♡は…♡
頭、真っ白ぉ…♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
こんなの…
バカになりゅぅ…♡
……ッ…！
ズイッ
ぐしぱぁっ♡
ぬ～ぃ♡
うわぁ…これ絶対ヤバい奴だっ…！
こんなのにおちんぽ挿れたら…
ぬとぉ～～…♡
ツブツブがいっぱいで…
ドロドロで…ウネウネしてて…♡
ごくっ…♡

挿れたらヤバい…
挿れたらヤバいッ…♡
ハヂ…♡
ハヂ～♡
ぬちゅっ…！
挿れたら…あっ…♡
あっあっアッアッ…♡
ぬぷぷぷぷ～…♡
チュルッ♡
キュッ♡
キュッ♡
ビクッ♡
ァァ～～～ッ…♡♡♡
挿れちゃったぁあああっ♡
わたしっ、もう戻れにゃぁいっ♡


あぁ～ッ♡
あぁーッ♡
あったかくてっ、
トロトロぉッ♡
もっとッ♡もっとぉッ♡
ジュポッ
ジュポッ
ズリュッ
たくさんのツブツブが
一斉に舐めしゃぶってきてっ♡
もう無理ぃッ♡
頭溶けちゃうッ♡
もうなんも考えらんにゃいっ♡
おちんぽ気持ちいいッ♡
オッ
オォッ
グチュッ
ヘコッ
あっ来るっ♡
来ちゃうッ♡
しゅごいの
くりゅうぅッ♡
グッ
チュッ

おおおおおッ♡♡♡
ビュルルッ♡
ドクッ♡
ドクッ♡
ビュルルッ♡
ああぁっ♡
吸われてるッ♡
ビュクン♡
ビュッ♡
チュルルーッ♡
ストローみたいにッ♡
チューチューされてりゅうッ♡♡
ごぽ…♡ごぽ…♡
ビュルルッ♡
ビュー♡
ドビュッ♡
ヘヴ♡
ヘヴ♡
ヘヴ♡
あ～ッ止まんにゃいッ♡
お精子止まんにゃいよぉッ♡

オッ♡オッ♡
ズルルッ♡
はぁ～…♡
もう…出ないよぉ…♡
チュポッ♡
ビクンッ♡
ビクッ♡
魔力お精子…
全部搾り取られちゃった…♡
触手で強制ぴゅっぴゅ…
しゅごい…♡
もうおててオナニーに
戻れないかもぉ…♡

アッ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
あれから数日後…
当初の目的なんて
完全に忘れてしまい…
プシュー♡
ンッ♡
ンッ♡
シコ♡
シコ♡
シコ♡
シコ♡
ジュプッ♡
ジュポッ♡
わたし、すっかりこの子たち専用の
精液サーバーになっちゃいました…♡
ここ数日の間、ず～っと
魔力精液を搾られちゃってます…♡
ぼて～♡
グチュッ♡
グチュッ♡

この子たち、たしかにちょっとだけ強引だけど…
ビッ
んぶッ
痛いことは絶対にしてこないんです
ゾ…
ゾ…
ゴク…
ゴク…
ゴク…
優しく、気持ちよく…ぴゅっぴゅって…♡
アー…
ビュルッ
わたしのこってり魔力ザーメン…い〜っぱい搾ってくれるんです…♡
ンン…
ビュー
ドプッ
ゴポッ
こんなの…好きになっちゃう…♡

はぁ～～♡また搾り取られちゃった…♡
ン～～…♡
ちゅっ
ちゅるっ…♡
おちんぽ…気持ちいい…♡
ドキン♡
ドキン♡
ビクッ♡
ビクッ♡
うぅッ!?
ドクン♡
ドクン♡
ドクン♡
ドクン♡
うぅっ♡お、お腹がッ…♡中で動いてる…っ♡もう、出たいんだねっ…♡
うんっ、いいよ♡
出ておいでッ…♡
グッ♡
オッ…♡出てく…りゅ…♡
くぱっ♡
リュッ♡
ムリュッ♡
オッ♡

おおおおおおおッ♡
産まれりゅうぅぅうっ♡♡
この排泄感…ッ♡気持ちいいぃぃッ♡
破水お射精でりゅぅぅぅッ♡♡
ビュー♡
ブリュリュリュッ♡
この子…わたしの赤ちゃんの部屋が
気に入ったみたいで…♡まるで
わたしの子みたいに懐いてくるの…♡
ドロ～ッ♡
ちゅうぅ♡
ハッ♡
あ…♡キミもミルク…飲みたいの…？
うん、いいよ…♡
おちんぽチューチューしようね…♡

というわけで…
しばらく、街頭販売はお休みします…
プシューン
ハァ♡
ハァ♡
ゾクゾクン
あぁ♡おっぱいミルクも吸われちゃってるっ…♡
またイクっ♡イクっ…♡
ビュルルル♡
次回、訪問販売で街へ行く時はたくさん在庫を揃えておきますので…よろしくお願いします…
グチュッ♡
次回がいつになるかは…未定です…冒険者の皆さん…ごめんなさい…♡
おしまい。

あとがき

こんにちは、サークル「イチカラビルヂング」のAct先輩です。

今回は初となるマンガ形式での作品です。
今回のテーマはふたなりの女の子がひたすら
触手に精液を搾られちゃうものとなりました。

ふたなり…
一言で言っても様々なシチュがありますよね。
今回のマンガは僕が最も好きなふたなりシチュです。。
途中で他の女の子キャラ、あるいはふたなり娘と
S◯Xすることもなく、ただ触手に搾られて終わる…
そんなマンガが読みたい！という気持ちで描きました。

そんな気持ちで始めたマンガ作業ですが…
めっちゃしんどい。
正直、あんなに大変だとは思いませんでした。
僕も数々の薄い本にお世話になってきましたが、
薄い本は「薄くないんだ」ということを身をもって思い知りました。
同人作家の方たちには頭が上がりません…
みなさんもぜひ、マンガ作品を読み終わった時は
心の中で作者さんに「お疲れ様」と言ってあげてくださいね。

というわけで、長々とした拙い文章はここまでとしておきます。
今回の作品、楽しんでいただけましたら幸いです。
もしよろしければ購入サイトにてレビューを投稿いただけると
非常に作者の励みになります。

今後ともイチカラビルヂングを宜しくお願い致します。

以上、Act先輩でした。